

CAR No.34&35

スーパーFJ

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

Beyond

2012/4/7



スーパーFJ 富士シリーズ 第 1 戦

4月7日(日) 予選・決勝

1 LAP=4.563km 決勝：12LAPS

天候：雪 コース：ドライ 出走：9台

気温：9℃ 湿度：27% 路温：11℃

ドライバー：深村 匠 (アルビ GIA ミスト KKS #34)

神村悠太 (アルビ RTGIAEDMOTY #35)

決勝結果：深村選手 8位

神村選手 9位

■4月7日(土) 予選

12時45分予選開始。深村選手、神村選手ともに初めてニュータイヤを装着し、コースイン。レースデビューとあってレースの流れを掴みながらの慌ただしいコースインとなったが、両者ともニュータイヤのグリップに対応できず、深村選手8番手、神村選手9番手で予選終了となった。

■4月7日(土) 決勝

直前に雪が降り出すという悪天候の中、15時55分決勝スタート。後方グリッドからポジションアップを狙う両ドライバーだったが、深村選手が出遅れ神村選手と順位が入れ替わる形でレースが進行。気温が9℃まで下がったことで路面のグリップが低下し普段より滑りやすくなった状況に加え、慣れないニュータイヤへの対応に苦慮しながら周回を重ねる。

レース中盤、神村選手がスピン。結果、予選の順位と変わらずコントロールラインを通過し、両ドライバーにとってほろ苦いデビュー戦となった。

○深村選手コメント

練習不足に加え、うまくタイヤを使うことができないまま予選が終わってしまいました。決勝レース中も運転の荒さが出てしまったので、次はもっと上を目指してがんばります。

○神村選手コメント

まだまだ自分の実力不足を痛感しました。もっとたくさん練習して、次戦では今日よりいい結果がでるように頑張りたいです。

○中村監督コメント

新人ということで開幕まで数える程度の練習でしたが、若いだけあってレース出場できるレベルになりました。第 2 戦は結果を意識した走行になるとおもいます。これからも宜しく御声援御願いたします。

 Nankai Plan Co.,Ltd.

